



## 2024年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月13日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所

東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新藤 弘章

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長

(氏名) 津野 浩志

TEL 03-6627-3487

四半期報告書提出予定日 2024年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日~2024年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	400	13.1	189		193		196	
2023年10月期第2四半期	354	16.2	167		164		166	

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 77百万円 ( %) 2023年10月期第2四半期 148百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	0.30	
2023年10月期第2四半期	0.42	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第2四半期	2,316	1,374	59.3	2.07
2023年10月期	1,952	1,291	66.0	1.99

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 1,374百万円 2023年10月期 1,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期		0.00		0.00	0.00
2024年10月期		0.00			
2024年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,021	108.9	373		388		373		0.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期2Q	664,332,877 株	2023年10月期	646,185,819 株
期末自己株式数	2024年10月期2Q	4,341 株	2023年10月期	4,321 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期2Q	646,544,117 株	2023年10月期2Q	399,996,208 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の水準引き上げが進み緩やかな景気回復基調となりつつあり、日銀がマイナス金利政策解除で17年ぶりの利上げを決定いたしました。一方で、ロシア・ウクライナによる紛争継続等の地政学リスクや為替相場における円安進行等により原材料や光熱費が依然として高止まりしており、国内における経済状況は引き続き不透明な状況が継続しております。

当社グループのセグメントに係る各業界においても、国内景気と同様、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、不動産事業においては、前経営陣が進めた絶景ジャパンプロジェクトとして仕入れた物件の売却を進める一方、新体制第1弾事業として販売用不動産の仕入れを完了、続いて渋谷区の開発用地や港区の高級マンションの仕入れを決定いたしました。投資事業においては、既存案件の売却を検討いたしました。不動産クレジット事業においては、新規獲得は無く、既存1案件が進行中です。

なお、新たに“SALT（塩）のひと振り世界を変える”をスローガンとして掲げ、軸に新たな価値を創出し続けるソルト・グループ株式会社の新株予約権付社債を引き受けました。当社事業とのシナジーのみならず、投資利益を見込める先として判断しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は400百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業損失は189百万円（前年同四半期は営業損失167百万円）、経常損失は193百万円（前年同四半期は経常損失164百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は196百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失166百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 不動産事業

絶景JAPANプロジェクトについては、13件中8件を契約し、8件を引き渡し売上計上いたしました。また、東京都内で案件仕入れを検討する中、渋谷区の開発用地や港区の高級マンションの仕入れを決定しました。引き続き、将来業績寄与が見込める案件について東京都内を中心に仕入れ活動を継続してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高394百万円（前年同四半期比74.0%増）、営業損失12百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）となりました。

#### ② 投資事業

既存の投資先は、引き続き資金化を進めてまいりました。また、当該セグメントとしては、連結子会社「Japan Allocation Fund SPC」にて株式保有をしており、今後も投資先の発展に寄与できるよう注視してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は無く（前年同四半期は売上高127百万円）、営業損失3百万円（前年同四半期は営業利益56百万円）となりました。

#### ③ 不動産クレジット事業

不動産担保融資1件、融資残高100百万円という状況です。現状は体制の見直しを図っており、グループ事業とのシナジーを維持・発展できるよう整備してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高5百万円（前年同四半期は売上計上無し）、営業利益3百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,536百万円となり、前連結会計年度末に比べて356百万円減少しました。現金及び預金の減少261百万円、営業投資有価証券の減少233百万円が主な要因であります。

#### ② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は779百万円となり、前連結会計年度末に比べて725百万円増加しました。投資有価証券の増加709百万円が主な要因であります。

#### ③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は721百万円となり、前連結会計年度末に比べて147百万円増加しました。短期借入金の増加336百万円が主な要因であります。

#### ④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は220百万円となり、前連結会計年度末に比べて134百万円増加

しました。その他の増加133百万円が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,374百万円となり、前連結会計年度末に比べて82百万円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,316百万円となり、前連結会計年度末に比べて364百万円増加しました。

⑥ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、537百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは450百万円の支出となりました。これは、主として棚卸資産の増加による支出132百万円、営業貸付金の増加による支出72百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは169百万円の支出となりました。これは、主として投資有価証券の取得による支出207百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは339百万円の収入となりました。これは、主として短期借入金の純増加額336百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績予想と実績との差異については、M&Aに係る費用等を計上したことによるものであります。また、2024年5月30日に公表しました「リパーク株式会社及び株式会社 REGALE の株式取得（子会社化）の基本合意書締結に関するお知らせ」のとおり、連結子会社の取得を予定しており、期末業績への影響を精査しております。そのため、業績予想につきましては、2024年2月26日に公表した業績予想から据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	798,247	536,628
営業未収入金	1,642	1,049
営業投資有価証券	295,882	62,289
販売用不動産	658,642	790,947
未収還付法人税等	244	-
営業貸付金	27,200	100,000
その他	114,499	47,415
貸倒引当金	△2,643	△1,612
流動資産合計	1,893,715	1,536,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	-	10,261
工具、器具及び備品(純額)	-	6,958
有形固定資産合計	-	17,219
無形固定資産		
ソフトウェア	-	290
無形固定資産合計	-	290
投資その他の資産		
投資有価証券	7,560	717,028
出資金	980	6,980
破産更生債権等	999	819
敷金及び保証金	45,006	37,966
その他	1,340	500
貸倒引当金	△999	△819
投資その他の資産合計	54,886	762,474
固定資産合計	54,886	779,984
繰延資産	3,739	-
資産合計	1,952,341	2,316,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	5,608	375
短期借入金	334,860	670,860
未払法人税等	773	569
借入有価証券	128,299	-
預り金	58,878	13,233
その他	45,758	36,817
流動負債合計	574,177	721,856
固定負債		
ノンリコース長期借入金	62,289	62,289
退職給付に係る負債	11,769	2,741
長期預り敷金保証金	668	10,081
その他	11,719	145,658
固定負債合計	86,446	220,771
負債合計	660,624	942,628
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	103,542
資本剰余金	1,511,355	1,514,897
利益剰余金	△325,057	△520,497
自己株式	△1,972	△1,972
株主資本合計	1,284,325	1,095,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,094	278,104
その他の包括利益累計額合計	4,094	278,104
新株予約権	3,296	-
純資産合計	1,291,716	1,374,074
負債純資産合計	1,952,341	2,316,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年4月30日)
売上高	354,098	400,361
売上原価	174,346	376,003
売上総利益	179,751	24,358
販売費及び一般管理費	346,753	214,121
営業損失(△)	△167,001	△189,763
営業外収益		
受取利息	87	384
貸倒引当金戻入額	132	1,211
業務受託収入	28,666	16,000
有価証券運用益	-	573
その他	4,166	9,850
営業外収益合計	33,053	28,019
営業外費用		
支払利息	8,903	7,260
業務受託費用	21,562	10,976
新株予約権発行費償却	-	3,739
支払手数料	-	5,100
その他	364	4,931
営業外費用合計	30,830	32,007
経常損失(△)	△164,778	△193,752
特別利益		
固定資産売却益	10	1,727
その他	-	52
特別利益合計	10	1,779
特別損失		
固定資産除却損	147	-
店舗閉鎖損失	879	-
解約違約金等	-	3,896
特別損失合計	1,027	3,896
税金等調整前四半期純損失(△)	△165,795	△195,868
法人税、住民税及び事業税	246	338
法人税等調整額	658	-
法人税等合計	904	338
四半期純損失(△)	△166,699	△196,206
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△166,699	△196,206

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純損失(△)	△166,699	△196,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,183	274,009
その他の包括利益合計	18,183	274,009
四半期包括利益	△148,516	77,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,516	77,802
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△165,795	△195,868
減価償却費	3,251	3,902
新株予約権発行費償却	-	3,739
貸倒引当金の増減額(△は減少)	439	△1,211
賞与引当金の増減額(△は減少)	300	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,903	△9,027
受取利息及び受取配当金	△87	△3,929
支払利息	8,903	7,260
固定資産売却損益(△は益)	-	△1,727
有価証券運用損益(△は益)	-	△573
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	273,857	-
借入有価証券の増減額(△は減少)	△49,808	1,640
売上債権の増減額(△は増加)	3,864	592
棚卸資産の増減額(△は増加)	△69,898	△132,304
営業貸付金の増減額(△は増加)	-	△72,800
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,180	△5,232
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	2,598	9,413
預り金の増減額(△は減少)	△19,311	△45,644
破産更生債権等の増減額(△は増加)	-	180
その他	△34,402	△6,080
小計	△64,172	△447,670
利息及び配当金の受取額	87	3,929
利息の支払額	△13,910	△6,587
法人税等の支払額	△625	△541
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,620	△450,870
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,861	△17,381
有形固定資産の売却による収入	-	1,727
無形固定資産の取得による支出	-	△300
投資有価証券の取得による支出	-	△207,281
投資有価証券の売却による収入	-	18,614
貸付金の回収による収入	2,670	-
出資金の払込による支出	-	△6,000
敷金及び保証金の差入による支出	△3,095	△1,169
敷金及び保証金の回収による収入	26,320	43,209
その他	18,844	△800
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,877	△169,380
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	27,000	336,000
長期借入金の返済による支出	△400,000	-
自己株式の取得による支出	-	△0
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	7,000
新株予約権の買取による支出	-	△3,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373,000	339,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△418,743	△280,410
現金及び現金同等物の期首残高	1,186,812	817,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	768,069	537,347

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算 書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	不動産クレジ ット事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	148,567	-	-	148,567	-	148,567
その他の収益(注) 3	78,355	127,175	-	205,530	-	205,530
外部顧客への売上高	226,923	127,175	-	354,098	-	354,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	226,923	127,175	-	354,098	-	354,098
セグメント利益又は損失 (△)	△14,412	56,959	△2,913	39,633	△206,634	△167,001

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△206,634千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算 書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	不動産クレジ ット事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	386,861	-	5,545	392,406	-	392,406
その他の収益(注) 3	7,955	-	-	7,955	-	7,955
外部顧客への売上高	394,816	-	5,545	400,361	-	400,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-

計	394,816	-	5,545	400,361	-	400,361
セグメント利益又は損失 (△)	△12,875	△3,511	3,421	△12,964	△176,798	△189,763

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△176,798千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「ファイナンス事業」のセグメント名称を「不動産クレジット事業」に変更しております。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。